



# Contents

- 1: サケってどんな魚?
- 2: サケは神秘的魚
- 3: サケが森を豊かにする!?
- 4: サケと人
- 5: サケと漁業
- 6: 漁業のありかたを考える
- 7: サケを食べて、サケを守る

# PATAGONIA TIMES

Volume.5



## 2 Mystery Fish サケは神秘的魚

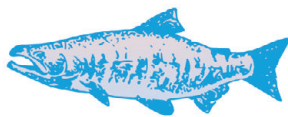
サケが川から外洋に出て、卵を産むためにふたたび生まれた川にもどることを母川回帰といいます。ほとんどのサケが自分の生まれた場所をまちがえることなくもどってくるといわれていますが、どうしてそんなことができるのでしょうか？ その生態はまだ謎につつまれています。

## Salmon Jerky for Better Nature



### パタゴニアがサーモン・ジャーキーを売っている!?

アウトドアウェアメーカーのパタゴニアがサーモン・ジャーキーを販売していると聞いて、みなさんは不思議に思うでしょう。でもパタゴニアにとって、オーガニックコットンのTシャツと、サーモン・ジャーキーを製造することは同じこと。その理由を一緒に考えてみましょう。



## 1 What's in a Salmon? サケってどんな魚?

サケは川で生まれて、海へ出て成長しながら回遊し、また生まれた川にもどって産卵します。一生のうちのほとんどを海で過ごすサケですが、分類上は淡水魚（川や湖でくらす魚）。はるか昔、川でくらしていたサケは、えさが多く水温も安定している海を目ざし、海水に適應できるからだへと進化をとげたといわれています。強い子孫をのこすために海の栄養分をたっぷり蓄え、生まれた川にもどって産卵する魚です。

Welcome home!!

## 3 SWIMMING FOR NATURE サケが森を豊かにする!?

森にはサケが蓄えてきた海の栄養分を必要とする生きものがいます。クマが川で泳ぐサケをとらえる姿を見たことはありませんか？ 彼らはサケを食べることで、森ではえられない海のめぐみも取り入れているのです。そしてクマが食べるのこしたサケは、森の栄養分にもなります。海で育ったサケが川の上流で一生涯を終えることで、森に栄養を与え、健全な森や川を育み、その清らかな水が再び海へと流れていくのです。つまりサケの一生は、地球環境の循環の一部になっているというわけです。



## 4 A Spiritual Fish サケと人

日本、ロシア、アラスカ、カナダなど、古くからサケのめぐみを受けてきた環太平洋地域には、自然とともにある知恵や文化が受けつがれてきました。日本では縄文時代からサケとのかかわりが見られ、食料、衣類、生活用具として、とくに北海道のアイヌの人々の暮らしにサケは欠かせない存在でした。いまでもアイヌの人々は毎年、秋から冬にかけてもどってくるサケに感謝し、サケを神さまの魚「カムイチェブ」としておまつりしています。



## サケと漁業

サケが生息する地域では、森でくらすクマのように、人々も海の栄養分を吸収したサケを食べ元気にくらししてきました。だからサケは海ではなく、川でとられる魚。川にもどってきたサケを食べるからこそ、たくさんめぐみをいただくことができるのです。古代から人々は川にもどったサケをとるための漁業を発達させてきました。



## NO FISH IN THE RIVER

### 漁業のありかたを考える

しかし、時代とともにサケのありかたが変わり、海を回遊するサケをとるようになってしまいました。サケの生態を考えず海で漁をすると、とったサケがどこの川で生まれたサケなのか区別がつかみません。そしてサケが川にもどらなくなると、森の生態系もくずれてしまうのです。つまり、サケの生態を守ることは、地球の自然環境を守ること。いままさに、漁業のありかたがとわれているのです。ちなみに寿司として食べられているあざやかなオレンジ色のサケの多くは養殖で、一生をいけすのなかで配合飼料を食べてすごします。

## 7 HAVE A SNACK. SAVE A SPECIES

### サケを食べて、サケを守る

川にもどってきたサケはタンパク質も豊富で栄養たっぷり、しかも低脂肪。そんな天然のサケをいただいて、元気なからだを育むことは、サケを守ることにつながります。サケの存在はわたしたちが環境を意識し、地域のことを考えるきっかけにもなるのです。



さあ、川にもどろう!

サーモンが川を上るようす、伝統的な漁の動画などがみられます。  
vimeo.com/54752184



## from patagonia パタゴニアより

パタゴニアでは、持続可能な漁業によってとられた天然のサケを加工して、サーモン・ジャーキーを製造しています。本プロジェクトは、サケが生息する地域の環境を守り、種の保存を目的とした新たなプロジェクト。カナダのブリティッシュ・コロンビアからはじまりました。さあ、はらごしらえをして、種を救おう!

デザイン：ジェリー・翰飼



### 環境に与える影響を最小限にしたものづくり

1973年、アメリカ・カリフォルニア州ベンチュラで設立。アルパインからサーフィンまで、機械に頼らないアウトドアスポーツのための丈夫で機能的なウェアを製造・販売する。『最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する』というミッション・ステートメントのもとに製品づくりをしている。

### Patagonia 2013 Spring/Summer collection



**Baby Baggies Jacket**  
#60285 ¥7,875 (税込)

速乾性を備え、風や小雨に対応するサブテックス・ナイロン製のフード付きウインドブレーカー。



**Boys' Torrentshell Jacket**  
#64312 ¥12,600 (税込)

土砂降りの中でもドライな着心地を保つ、男の子用の軽量なフードつきレインジャケット。



**Baby Sun Bucket Hat**  
#66074 ¥2,940 (税込)

速乾性に優れたサブテックス・ナイロンを使用したかわいらしいリバーシブルの帽子。

オンラインショップで全製品をご覧ください。patagonia.com/japan

[お問い合わせ] パタゴニア日本支社 カスタマーサービス ☎ 0088-252-252